

代表者会議【資料 3 - 1】

茅ヶ崎市自立支援協議会 報告書

件 名	令和 7 年度 第 1 回 就労・生活支援部会
日 時	令和 7 年 4 月 21 日（月）16:00～17:30
場 所	地域生活支援センター 元町の家
事 務 局	地域生活支援センター 元町の家
部会委員	<p>■ 高野 宏章 部会長 （ちがさきエボシライン）</p> <p>■ 鈴木 悠哉 副部会長（プラーナ湘南）</p> <p>■ 青木 暢彦 委員 （茅ヶ崎市障害者施設連絡会）</p> <p>■ 渡部 司 委員 （湘南地域就労援助センター）</p> <p>■ 菅 利光 委員 （神奈川県立茅ヶ崎支援学校）</p> <p>□ 三浦 紗恵美 委員 （神奈川県立茅ヶ崎高等学校）</p> <p>■ 肥後 麗子 委員 （神奈川県立茅ヶ崎高等学校）</p> <p>■ 和田 由美子 委員 （茅ヶ崎市社会福祉協議会障害者生活支援センター）</p> <p>■ 鈴木 健太 委員 （茅ヶ崎市役所障がい福祉課）</p> <p>■ 佐藤 右輔 事務局 （地域生活支援センター 元町の家）</p> <p>■ 久保田 祐子 事務局 （地域生活支援センター 元町の家）</p> <p>■ 大畑 純子 氏 （オブザーバー／茅ヶ崎市役所障がい福祉課）</p> <p>■ 瀬川 直人 氏 （オブザーバー／ちがさき基幹相談支援センターNalu）</p> <p>■ 菊地 真弓 氏 （オブザーバー／ちがさき基幹相談支援センターNalu）</p> <p>※ ■出席 □欠席</p>
議 題	<p>1. 「職場体験実習」を地域におろすことについて</p> <p>2. 進路に関する普及啓発について</p>
検 討 内 容	<p>茅ヶ崎市内の全ての就労継続支援 A 型・B 型事業所を、部会長・副部会長・事務局で回り、職場体験実習、進路に関する普及啓発を目的とする就労系イベント開催、また、就労系事業所の連絡会を立ち上げることを話し、参加を呼びかけた。（14 ヶ所プラス就労移行支援事業所 3 ヶ所の計 17 ヶ所。）連絡会は 5 月に第 1 回を開催予定。</p> <p>1. 「職場体験実習」を地域におろすことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「職場体験実習」について、部会からの呼びかけが弱く、各事業所に趣旨が伝わらなかった。体験実習をより活用してもらえるようにしていく。部会がサポートしながら、就労系事業所の連絡会立ち上げ後は連絡会を活用して、各事業所が体験実習を実施できるようにしていく。 ・就労自体を考えていない事業所もある。就職させているのは 3～4 か所。A 型事業所である程度収入を得られるから就労しないのか。事業所としても、仕事ができる利用者がいなくなると事業として成り立たなくなり、出て行かれても困るということか。利用者にはもったいないことである。 <p>2. 進路に関する普及啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/27（土）10:30～16:00（時間は参加事業所に確認後、決定する）に開催予定。コミュニティホール及び市役所前広場にて、就労系事業所等の周知アップを目的としたイベントを開催する。

代表者会議【資料３－１】

	<ul style="list-style-type: none"> ・どの事業所もイベント参加に前向きで、物販にも７ヶ所程度の事業所に協力を得られそうである。５月の就労系事業所の連絡会でも出展意欲を喚起する。 ・障がい者雇用をしている企業にも参加を呼びかけてはどうか。 ・５月までに参加事業所を決め、会場配置を考え、素案を出す。 チラシは、７/１５に県立茅ヶ崎支援学校で配布できるよう作成する。 ・チラシ・ポスターの印刷代はない。出展料をとることは敬遠される。ラクスルに注文するなど費用を抑えてのデザイン・印刷を検討する。ちがさきエボシラインが作成する。Ａ４両面。来年度は予算を取り込めるようにする。 ・チラシ配布先に、訪問看護事業所、グループホームも加える。引きこもりの方の中には近所のコンビニには出向く方もいるとの理由で、コンビニにも置いてもらう。地域作業所連絡会でも配布することができる。当日参加者用のチラシも用意する。 ・物販で得た収入は事業所に入るのか。市が関わる企画での物販について、市が改めて確認する。物販が認められない場合、説明ブースだけになる。次年度は共催とするのが良いか。（藤沢市の場合、商工会館ミナパークだったため物販が可能だったと判断される。） ・えぼし麻呂をチラシに載せることや、着ぐるみの参加は認められるか、確認する。 ・特に雨天の場合、市のテント（１個のみ）を借用できるか、また、事業所に自前で用意できるテントがあるか、確認する。 ・行政による制度説明の場所をどこにとるか。仕切りがあると良い。椅子は４０席程度用意する。司会・パソコン操作できる人を配置する。３０分程度、資料を投影しながら話をする。（就労について１０分・グループホームについて１０分・相談支援について１０分、当事者による体験談はなしとする。グループホームについては、茅ヶ崎市・寒川町のホーム連絡会に話してもらってはどうか。）制度説明は、２回／日（午前１回・午後１回）行う。 ・会場で来場者が相談できると良い。湘南地域就労援助センターやちがさき基幹相談支援センターNaluのブースを設ける。藤沢市のイベントでは、ハローワークのブースに人が集まらなかった（仕事を紹介して貰える訳ではない為）。 ・役割分担について、受付を配置し、案内は手が空いている部会委員で行う。県立茅ヶ崎高校にボランティア部があり、チラシを配布してもらってはどうか。 <p>第２回 就労・生活支援部会開催日時：７月４日（金）１６：００～１７：３０／元町の家</p>
課題・懸案事項	